

施政要旨

平成31年第1回大石田町議会定例会が3月5日から15日まで開かれ、庄司町長が町政運営に対する基本的な考えと施策の概要について述べました。平成31年度の施策のあらましと当初予算についてお伝えします。

各分野の施策概要

◎納税対策について

○納税環境の整備としての口座振替の推進や、ゆうちょ銀行やコンビニ収納、未納対策のため納税相談員を引き続き実施・配置します。
○小中学生に対する税金教室の実施により納税意識の向上を図りながら、適正な賦課・徴収に努め、収納率向上と税収確保に努めます。

◎定住対策とまちづくり事業について

○定住対策として、新築住宅への定住促進助成金交付事業や住宅リフォーム支援事業など、住まいへの支援を引き続き実施します。また、移住世帯に対する食の支援を引き続き実施します。
○ふれあい広場の整備やウォーキングマップに合わせた誘導サインの設置、観光まちづくりマップの作成など、虹のプラザを中心とした生活基盤の整備を進めます。
○駅前賑わい拠点施設「KOnoKURA」でのイベント開催や観光案内などにより、駅周辺の賑わい創出と駅を起点とした観光促進に努めます。
○子育てや高齢者生きがいづくりに対し、まちづくり推進事業として引き続き支援します。
○ふるさと納税を、大石田町の魅力を発信できる絶好の機会ととらえて、国の方針を踏まえながら魅力ある産品の掘り起しに努めます。



私が大石田町の町政運営を預かってから7年間、一貫して町民の代表としての立場を忘れることなく「ここから通う あたたかい町政」を信条とし、町民目線の政策を模索してまいりました。昨年にはあったまりランドの宿泊施設「虹の館」がリニューアルオープンし、外国人観光客などへのニーズに応え、これまでになかったベッドを配置した客室を整備しました。そして、待望の東北中央自動車道大石田村山インターが完成し、町へのアクセスが格段に向上しています。7月には文化の町をPRする奥の細道サミットを開催いたしました。
相次ぐ災害への備えとして5月に2千人規模の最上川総合水防演習が実施されています。本年には、災害発生時の拠点施設である尾花沢消防署大石田分署の改築を予定しています。
大石田町は発足以来、ひたすらに町の活性化と定住対策を掲げてまいりました。人口対策に特効薬は無いと言われておりますが、一歩一歩前進していきたいと考えております。今後とも町民目線の町政を進めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

◎保健・福祉関係事業について

- 「大石田町子ども・子育て支援事業計画（第2期）」を策定し、子育て支援に関する総合対策を樹立します。
- 中学3年生までの児童・生徒に対するインフルエンザ予防接種助成を実施します。
- 10月より始まる幼児教育・保育の無償化についてスムーズな移行に努めます。
- 地域における高齢者、障がい者、児童の福祉政策の根幹となる「大石田町地域福祉計画」の策定に着手し、すべての方にやさしい社会の実現を目指します。
- 除雪費用・灯油購入費助成制度を継続し、高齢者が安心して生活できる生活環境整備を図ります。
- 健康で心豊かに生活できる町を目指して「大石田町健康増進計画 健康おいしだ21」の見直しに着手するとともに、自殺対策計画、歯科口腔保健計画を策定します。
- 保健センターを核にして、健康づくり教室の開催、各種健診の受診率向上、予防接種の勧奨などにより健康意識の高揚を図ります。
- 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるまちづくりに向けて、地域包括支援センターを主体に医療・介護ケアの充実を図るとともに、認知症予防対策にも積極的に取り組みます。
- 国民健康保険事業については、効果的な保健事業や疾病予防、ジェネリック医薬品の普及、かかりつけ医の定着など医療費抑制対策を強化し、保険税の低減を目指します。

◎生活環境保全事業について

- 町衛生組織連合会と連携して資源回収を実施し、再資源化を推進します。
- ごみ収集日の周知徹底や分別啓発に力を入れ、マナー向上に努めます。

◎農林業振興事業について

- 認定農業者・認定新規就農者制度の活用や農地の集積による規模の拡大、担い手育成のための経営支援に努めます。
- 収入保険制度の加入促進を推進します。
- 特別栽培米の作付けを奨励し、農業生産工程管理（GAP）への取り組みを支援します。
- すいかなど、地域の特性を生かした園芸作物産地化に向けた取り組みを推進します。
- 良質なそばの収量確保のため、刈取組織の新規立ち上げなど態勢の充実を図ります。また、固有品種「来迎寺在来」の種子選別を継続実施し、安定した品種の継承・保存に努めます。
- 森林の持つ多面的機能が発揮されるよう「林地台帳」を活用し、森林資源の保全と総合的な利用に努めます。

◎観光物産振興事業について

- 通年通行が実現した国道347号について、観光ルートづくりやイベント開催、PR活動など関係団体が一体となって広域観光を促進します。
- 友好交流協定を結ぶ涌谷町との交流・連携を通じて、交流人口拡大と物産振興に努めます。
- 大石田そば街道の一層の賑わいを図るため、新そばまつりなど各種イベントの開催を支援し、温泉利用の促進や特産品の消費拡大など総合産業である観光振興を図ります。

◎商工業振興事業について

- 町内における消費喚起を図るためプレミアム商品券発行事業を支援します。
- 工業の労働力確保のため商工会・金融機関と連携して求人情報・各種融資制度の周知と活用を促します。

◎建設関係事業について

- 東北中央自動車道の全線開通に向けて、国に対し強く要望します。また、国道347号のさらなる雪対策と安全対策を山形・宮城両県に要望します。
- 安全で安心な道路空間確保のため、町道を計画的に整備します。
- 行政と住民の総力を結集して道路除雪にあたり、克雪に取り組みます。未整備地区の流雪溝整備に向けて、国・県及び関係機関との連携を強化します。
- 町営住宅の計画的な改修に努めます。また、地域優良賃貸住宅の家賃減額制度や、住宅リフォームへの支援を継続します。

◎安全安心のまちづくり事業について

- 交通安全意識向上に向け普及啓発活動を推進します。また、免許を自主返納した高齢者への支援を継続します。
- 尾花沢市消防署大石田分署を移転新築し、災害対応を強化します。

◎教育文化の振興について

- 大石田学園運営委員会を核に、小中一貫の系統性・連続性のある質の高い学校教育に取り組みます。
- 国際理解専門員を活用し、外国語活動と英語教育の充実を努め、英語力、国際理解力の向上を図ります。
- 学校における働き方改革を踏まえ、教員の勤務環境整備に取り組み、部活動指導員を配置して体制の充実に努めます。
- 虹のプラザを生涯学習推進拠点に、学ぶ楽しさと活動する喜びを共有できるよう学習機会や情報提供し、町民の生きがいづくりに取り組みます。
- 魅力的な知の拠点、気軽に集える憩いの場として利用されるよう図書館の運営に努めます。
- 大石田スポーツクラブが地域スポーツの担い手、地域コミュニティの核として、自主的・自律的に運営されるよう支援に努めます。